

【伊賀地域】
具体的対応方針について

伊賀区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状


- 各医療機関における具体的対応方針については、国の通知を受けて、あらためて令和5年度末に適宜見直しいただき、各構想区域において取りまとめたところ。
- 令和5年度の病床機能報告や令和6年度のアンケートをもとに、変更した点を中心に、今回あらためて地域の課題もふまえ、具体的対応方針を確認・協議いただく。

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和7(2025)年に向けた病床数						
岡波総合病院	救急の24時間365日体制に向けた取組を強化し、伊賀地域における急性期医療全般を担うとともに、急性期疾患受入増加に伴いポストアキュートの強化の観点から、回復期機能の充実にも取り組む。	10	275		50			335
			227	48				335
上野総合市民病院	診療科や医師の偏在、医師会及び開業医等の高齢化も進んでいる中、広範囲にわたる伊賀地域における基幹病院の1つとして、増加する高齢者複合疾患や急性期疾患及び名阪国道付近であり、救急外傷などの救急搬送に対応する必要がある。また、各種医療関連施設等との連携をとりつつ、医療機能(急性期機能、回復期機能)のバランスがとれた地域の中核病院をめざすとともに、災害拠点病院、がん診療連携病院、地域医療支援病院及び二次救急病院としての役割を果たす。また、臨床研修基幹型病院として研修医の育成。消化器疾患のトータルケア及びがん患者治療から終末期までのケアに対応する。加えて、災害や新興感染症などの入院患者に対応するための病床の確保が必要である。		237	44				281
								281
名張市立病院	地域の中核病院として、急性期医療や高度医療を主として提供し、急激に進行する高齢化に対応するため回復期機能も担いながら、名張市の地域包括ケアシステムの一翼を担う。		134	66				200
								200
寺田病院	急性期入院機能、慢性期の療養病床機能を維持しつつ、周辺の医療機関、介護事業所等の受け皿としての役割を担う。		55			40		95
			55					95
森川病院	周産期医療における一次及び二次医療のほか、特殊生殖医療、婦人科手術を行う急性期医療機関としての役割を担う。		52					52
								52

伊賀区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						計
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	
		上段：令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和7(2025)年に向けた病床数						
中産婦人科緑ヶ丘クリニック	専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能			19				19
				4				4
武田産婦人科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			14				14
								14
藤本産婦人科	緊急時に対応する機能			5				5
				4				4
にしうら眼科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			2				2
								2
金丸脳脊髄外科クリニック	(令和3年10月8日 病床設置) 専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能			15				15
								15
浅野整形外科内科	病床すべて休止中							0
								0

伊賀区域の具体的対応方針（令和6(2024)年度） ・ 病床機能の現状

伊賀地域	医療機能ごとの病床数						計
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	
令和6(2024)年7月1日時点の病床数【定量的基準後】 A	10	753	165	50	40		1018
令和7年(2025)年に向けた病床数【定量的基準後】 B	10	705	197	50	40		1002
			247				
将来(2030年)の病床数の必要量 C	78	293		339	231		941
B-C 	-68	412		-92	-191		61